

TDCSOFT Report



第59期決算報告

2011年4月1日～2012年3月31日



証券コード：4687

TDCソフトは、豊富な業務ノウハウと最先端の技術で様々な分野の企業活動をサポート。
ICTプロフェッショナルとして経営革新・業務革新による収益力向上や、新規事業の可能性向上等、
お客様の企業価値を高めることを目指してサービスを提供しています。

TDCSOFT
Your Value Partner

企業理念

わが社は、
最新の情報技術を提供し
お客様の繁栄に寄与するとともに
社員の生きがいを大切にし
社会と共に発展することを目指します。

TDCSOFT
Your Value Partner

行動指針

私たちの価値 Our Value



お客様の視点で発想し、**創造性** (Creativity) を発揮します。
高い目標に向かって、果敢に**挑戦** (Challenge) します。
オープンに**語り合い** (Communication)、夢と感動を共有します。
技術力の向上を図り、**自己実現** (Capability) を目指します。
法令を遵守 (Compliance) し、誠実かつ公正に行動します。

株主の皆様へ



代表取締役会長
橋本文雄

代表取締役社長
谷上俊二

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
TDCソフトは、本年2012年10月に創業50周年を迎えます。
半世紀に及ぶ歴史を築いてこられたのも、株主の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

当社は、パンチカードによるデータ入力事業からスタートし、大型汎用コンピュータのシステムズソフトウェア開発事業に進出。その後システムインテグレーターとして金融や通信、製造、公共など幅広い分野で数多くの優れた技術と高い品質のサービスを創出し、社会の要請に応え成長してまいりました。

当社50年の歴史は日本社会におけるコンピュータ利用の歴史と重なります。当社はいつの時代においてもお客様のご期待にお応えするため、最新の情報技術を駆使し幅広い業務ノウハウをもってチャレンジを続けてまいりました。

TDCソフトは、「いままで通り、そしてこれからも」
お客様に最も信頼されるパートナーであり続けます。
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

TDCソフト50年の歩み

TDCソフトが「株式会社東京データセンター」として創業したのはわが国情報化の黎明期である1962年のこと。

以来50年、社会の要請に応じて成長してきたTDCソフト50年の歩みを振り返ります。

おかげさまで
50周年

Trustpro
HANDY TRUST*
MoobizSync 2.0
 for AppExchange Hybrid

ASPを活用したモバイルビジネスに参入
 (2000年)



2012年4月入社社員による
未来に向けた力強い氣勢



天津TDCを設立 (2012年)



創業期の本社ビル (東京都中央区)



受託計算業務を行っていた頃 (1969年頃)



東証一部に株式上市 (2002年)



売上高100億円達成 (1999年度)



売上高150億円達成
(2006年度)



社員数1,000人を超える (2003年)



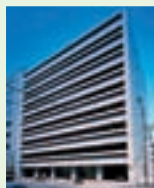
キーバンチャの様様 (1969年頃)



創業 (1962年)



売上高の推移



現本社 (東京都渋谷区)
に移転 (1985年)



MRDB

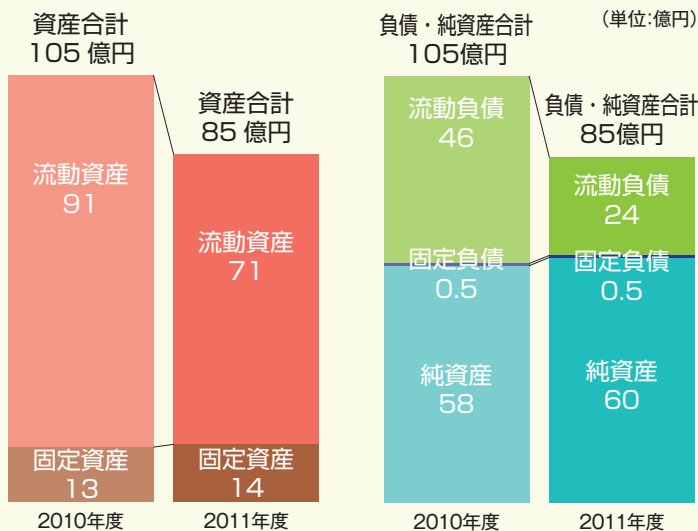
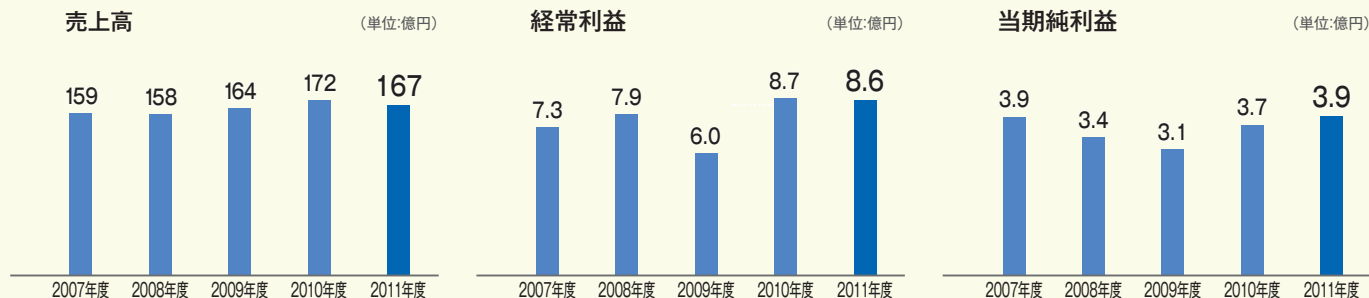


MRDBがソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤーを受賞 (1991年)

業績ハイライト

2011年度（2011年4月1日から2012年3月31日まで）は、お客様のIT投資動向に機敏に対応し、受注の確保・拡大に取り組んでまいりました。また、重点施策である製造工程の価格競争力強化、新たな市場・事業の獲得を目的として、今年2012年1月、中国天津市に当社初の海外現地法人を設立いたしました。2011年度の業績は、金融分野は堅調に推移したものの、法人分野が低調に推移したことにより、売上高は16,741百万円

（前期比2.8%減）にとどまりました。利益面では、一部開発案件において不採算案件が発生したものの、原価や販売費及び一般管理費の低減に努めたことなどにより、営業利益は814百万円（前期比4.3%増）、経常利益は866百万円（前期比0.4%減）、当期純利益は393百万円（前期比4.3%増）となりました。



【資産の部】

前期末と比較し、ソフトウェアの増加、関係会社出資金による払込などがありましたが、運転資金の返済による現金及び預金の減少、売掛金及び仕掛品の減少などがあり、資産の部は1,939百万円減少し8,582百万円（前期比18.4%減）となりました。

【負債の部】

前期末と比較し、運転資金の返済による短期借入金の減少、買掛金及び未払費用の減少などがあり、負債の部は2,121百万円減少し2,553百万円（前期比45.4%減）となりました。

【純資産の部】

前期末と比較し、自己株式の取得による支出などがありましたが、繰越利益剰余金の増加などがあり、純資産の部は6,029百万円（前期比3.1%増）となりました。

事業分野別概況



金融分野

(保険・クレジット・銀行)

- 金融分野の既存顧客へ積極的な提案を推進
- 金融機関オープンシステムにおけるアプリケーション開発やシステム環境構築の案件が堅調に推移

売上高

10,786百万円 (前期比+1.0%)

64.4%



法人分野

(通信・運輸・製造)

- 電気機器関連向けのシステム開発案件が堅調に推移
- 前期に運輸関連向けや通信関連向けの大型システム開発が終了

売上高

4,409百万円
(前期比▲10.4%)

26.4%



公共・公益分野

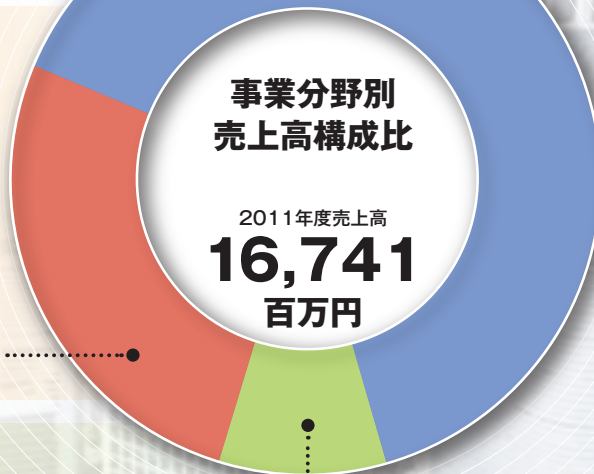
(官公庁・エネルギー)

- エネルギー関連向けのシステム開発案件が堅調に推移
- 官公庁・自治体関連向けのシステム開発案件が低調に推移

売上高

1,546百万円 (前期比▲4.8%)

9.2%



2012年度の取組み

受注の
確保・拡大

効率化による
収益確保

価格競争力
の強化

新事業・新市場
の獲得

企業基盤の強化

2012年度は受注の確保・拡大、収益の確保を重点施策として事業を推進してまいります。

受注の確保・拡大

- 新規顧客獲得力強化、提案力強化のため、コンサルティング組織を設置
- 開発に営業機能をもたせ、顧客、業種を深耕することにより、顧客満足度向上、アカウント営業力を強化

収益の確保

- 適時適切なプロジェクトレビュー
- 受注判定の厳格化
- プロジェクトマネジメントの強化

システム基盤・ネットワーク関連システム開発

- 金融関連のインフラ構築やオープン化ニーズを取り込むため、積極的に受注活動を行ってまいります。

ソリューションビジネス

- クラウド等、サービス及び製品を活用したシステム開発を推進。全社連携を強化し、ソリューションビジネスでの大規模案件の獲得を目指してまいります。

Trustpro

HANDy TRUST*

2011年度にTrustproを中核とした利用者数4,000名超の大規模プライベートクラウドを提供しました。2012年度はサービスの充実を図り、Trustproを中核としたシステム案件を獲得してまいります。

HANDyTRUSTはTrustpro連携によりライセンス数は6,000を超え、利用者数が増加しております。認知度も向上しており、2012年度はより浸透させ利用者数を増加させてまいります。

クラウドソリューションの推進

- 第4回クラウドランキング（日経コンピュータ2012年3月1日号）で『HANDyTRUST』及び『セールスフォース導入支援サービス』がベストサービスに選定されました。『HANDyTRUST』は第1回から4回連続で選定、『セールスフォース導入支援サービス』は第3回に引き続き連続選定されました。

HANDyTRUST*



- ITpro EXPO 2011、Cloud Days Tokyo 2012（主催：日経BP社）に出展、クラウド提案を推進しております。

Trustpro



クラウドソリューションを積極的に推進してまいります

海外ビジネス展開

中国天津ソフトウェアパーク（第3期）に
天津TDC軟件技術有限公司 を設立、事業を開始しました



梯递息软件

(TDCソフト中国向けロゴマーク)

日本での金融機関や公共、法人などにおける基幹系、周辺系、勘定系のシステム開発やインフラ構築、製品を活用したソリューションサービスの提供などの経験と実績のもとに、中国でもサービスを提供してまいります。

事業内容

ソリューションサービス

SIサービス

オフショア開発サービス

天津梯递息軟件技術有限公司

住 所：中国天津新技術産業園区華苑産業区
海泰西路18号北1-201

董事長：鈴木 一正

總經理：江口 隆広

資本金：77百万円

会社概要 (2012年4月現在)

会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社(2012年7月より)
TDC SOFTWARE ENGINEERING Inc.

創業 1962年(昭和37年)10月16日

上場市場 東京証券取引所 市場第一部(証券コード4687)

事業内容

- 保険、銀行、クレジット等の金融業、官公庁、法人向けの業務システム開発、ネットワークシステム開発、基盤ソフト開発などのSIソリューションサービス
- PaaS型クラウドソリューション「Trustpro」、カメラ付携帯電話ソリューション「HANDyTRUST」、SFA連携ソリューション「MoobizSync 2.0」などのクラウドソリューションサービス
- ERP・BI・CRM製品を利用したパッケージソリューションサービス
- システムの最適化計画実施支援や調達支援などのプロジェクトマネジメントサービス

従業員数 1,228名

資本金 9億7,040万円

事業所 **本社** 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番6号
関西事業所 大阪市中央区伏見町四丁目2番14号

子会社 **シンクアプローチ株式会社**
東京都港区芝三丁目22番7号 芝NKビル5F
天津梯達息軟件技術有限公司
中国天津新技術産業園区華苑産業区海泰西路18号北1-201

役員

代表取締役会長	橋本 文雄	上席執行役員	倉田 清二
代表取締役社長	谷上 俊二	執行役員	土橋 弘敏
取締役常務執行役員	岩田 伸	執行役員	北川 和義
取締役常務執行役員	青木 富夫	執行役員	小林 裕嘉
取締役執行役員	鈴木 一正	常勤監査役	諏訪 勝之
取締役執行役員	河合 靖雄	常勤監査役	野崎 聡
取締役執行役員	小田島吉伸	監査役	秋山 一郎

13

株式情報 (2012年3月31日現在)

株式の状況

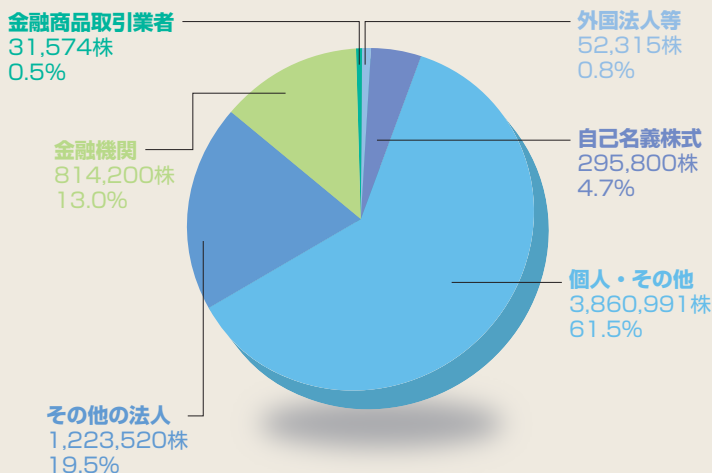
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	6,278,400株
株主数	2,865名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社野崎事務所	766,000	12.8
TDC社員持株会	630,900	10.5
藤井 吉文	271,600	4.5
野崎 聡	251,300	4.2
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	250,000	4.2
株式会社みずほ銀行	192,000	3.2
野崎 哲	142,300	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	112,200	1.9
アジア航測株式会社	100,000	1.7
水谷 真一	69,500	1.2

(注)当社は、自己株式295,800株を保有しております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関するお手続きについて)

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.tdc.co.jp/>
やむを得ない事由により、
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番6号
03-3350-8111 <http://www.tdc.co.jp/>

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選び頂けません。

※製品名などの固有名詞は各社の登録商標です。